

# 久喜市めぐり参加者募集

## 久喜市の魅力探訪！

皆さんの生活に結びつく公共施設や地域で継承してきた自慢のスポットを見学してみませんか。

見学コースとして市内の施設・文化財と鷲宮地区のコスモスふれあいロードを巡る「コスモスコース」、栗橋地区の赤花そば畑を巡る「赤花そばコース」の参加者を募集します。

### ●コスモスコース

日時 10月10日(木) 8時45分～16時  
集合 ①菖蒲総合支所 8時45分

②久喜市役所 9時

見学場所 総合体育館～久喜宮代清掃センター～コスモスふれあいロード～鷲宮神社(鷲宮催馬楽神楽見学)～栗橋文化会館(イリス)～静御前の墓



総合体育館の見学の様子

●赤花そばコース  
日時 10月18日(金) 8時45分～16時  
集合 ③菖蒲総合支所 8時45分

④久喜市役所 9時

見学場所 鷲宮温水プール～郷土資料館～鷲宮神社～赤花そば畑～栗橋文化会館(イリス)・吉田家水塚～静御前の墓

### 【共通事項】

対象 市内在住・在勤・在学者(お住まいの地区は問いません)

定員 各コース30人(超えた場合抽選)

※申し込みが8人に満たない場合は中止します。

費用 無料

※昼食・飲み物は、各自持参

申込期限 8月30日(金) 必着

その他 各コースとも市バスを利用します。また、天候等により見学場所が変更になる場合があります。

※コスモスコースは、神楽の上演時間により見学場所が前後する場合があります。

申込方法・問合せ 希望するコースと集合場所(①～④)、住所、氏名、電話番号を明記の上、はがきまたはFAX、Eメールで、広報広聴課広報広聴係(〒346-8501 所在地記入不要/内線5913/FAX22・1118/Eメールkoho@city.kuki.lg.jp)へ  
※1件の申し込みは4人まで



郷土資料館の見学の様子

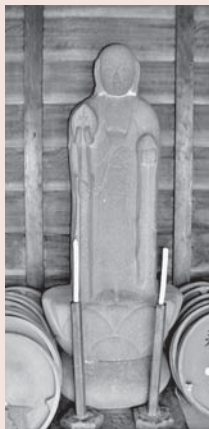
# 連載 久喜歴史だより(第22回)

## 関所破りの伝承を伝える

### 焙烙地蔵

夏の定番の飲み物といえば「麦茶」という方も多いのではないのでしょうか。昔は一般家庭でも大麦を焙烙などでいって麦茶を作ったそうです。焙烙は最近あまり見かけなくなりましたが、ゴマや豆などを入る素焼きの平たい土鍋のことです。

江戸時代に日光道中栗橋宿として栄えた新町(現在の栗橋東3丁目付近)には、この焙烙が奉納される「焙烙地蔵」がまつられています。



焙烙地蔵

焙烙地蔵は、宝永7年(1710)の銘のある地蔵菩薩の石仏で、昭和53年(1978)に旧栗橋町によって有形文化財に指定されました。石仏には「開発人」との銘もあることから、宿場やその周辺地の開発に携わった人物が建立したものと考えられています。地元では、焙烙地蔵は「関所破り」で火あぶりの刑にされた者を供養するために建立された」と伝えられています。江戸時代の関所破りの刑罰は磔と定められていました。栗橋関所や宿場で火

あぶりが執行されたという記録は現在のところ見つかっていませんが関所破りを伝える珍しい伝承です。

焙烙地蔵の「焙烙」は「焙烙」と漢字は異なりますが同義語で、両方とも「ほうろく」または「ほうらく」と発音します。中国の歴史書である「史記」には、殷の紂王が罪人を火あぶりにした刑罰のことを「焙烙之法」と記しています。焙烙地蔵の焙烙も「火あぶり」になぞらえて奉納されるようになったのかもしれない。

焙烙は、願いごとや子どもが誕生したときなどに名前を書いて奉納するそうです。焙烙地蔵のお堂には、奉納された焙烙が並びます。焙烙地蔵がまつられる新町では、毎年8月23日に祭礼が行われています。お堂には赤い提灯が飾られ、地元の人々が参拝に訪れます。



問合せ 文化財保護課文化財・歴史資料係(内線4323)